

下水道部の経営方針

部長 内田 義昭

展 望

下水道の有する多様な機能を通して持続可能な循環型社会が構築され、「美しい良好な環境」、「安全な暮らし」と「活力ある社会」が形成されている。

使 命

下水道等の整備を促進して汚水処理の普及をはじめ都市の浸水対策、老朽管の改築更新、施設の耐震化、災害対応トイレの設置などにより下水道機能を確保する。
下水道利用の普及活動、衛生設備設置及び雨水貯留浸透施設設置を推進する。
公営企業会計化により、持続可能な下水道サービスの提供に努める。

経営資源（平成23年4月1日現在）

構成

下水総務課 下水施設課 下水工事課

職員数

正規：64人（職員比率 1.90%） 再任用：2人 嘱託：1人 臨時：3人

平成23年度予算額

特別会計 9,937,268,000円

平成23年度組織重点目標

目標項目	達成方法	目標達成基準
下水道特別会計の公営企業会計への移行	資産調査、資産評価を行う 関係課との調整を行う	・公営企業会計移行委託業務の完了
公共下水道未接続戸数の減少	シルバー人材センターに委託し、戸別訪問による調査及び接続依頼を実施	・戸別訪問接続調査 5,500戸
下水道施設（管渠）の耐震対策を推進	管渠耐震実施設計業務を発注 管渠耐震対策工事を実施	・地震対策計画（5箇年）の平成23年度末進捗率 10.2%
下水道の汚水整備の推進	事業認可区域内、約23haの汚水管渠の整備	・汚水人口普及率 85.8% （前年度実績 85.6%）

下水道浸水対策の 計画推進	国・県等の関係機関との協議、調整 用地取得について所有者の事前了解を得る 整備計画等を取りまとめ 都市計画決定 事業認可（申請）	・六名雨水ポンプ場、 福岡玉川雨水ポンプ 場の法手続きの完了
------------------	--	--------------------------------------